

## 共生社会政策室

社会生活の中で支える側・支えられる側の垣根をとりはらい、だれもが活躍できる社会を実現することを目的とします。



詳しくは  
コチラ！

●共生社会政策推進運動  
～EverydayついDAY～  
開催 3/1～7/31(計17回)  
参加 計230名

少子高齢化が進む現代で必要なのは、誰もが役割を持ち活躍できる社会を、地域住民で助け合う「互助」によって実現すること。子どもができれば大人もできるという発想から、子どもが高齢者の買い物をする「ついDAY運動」と、介護される高齢者の気持ちを大人に経験してもらう「介護体験」を並行して実施することで、「他人事」から「我が事」への意識改革を推し進めました。今後も周りを巻き込み展開します。

### 事業レポート①

#### 共生社会政策委員会

#### 「ついDAY運動」で意識改革

### 事業レポート②

#### 中央区委員会

#### 障がい者理解の体験イベント



健常者が障がい者への理解を深め、手を差し伸べるための意識変革と、実際に行動する人を増やすことを目的に、ユニバーサルボッチャ、障がい者雇用、点字、手話を体験できるイベントを開催しました。

両者が関わりを持つ場面は多岐にわたるため、複数のテーマを提示し、



詳しくは  
コチラ！



●「心の手を繋ぎませんか」  
開催 7/6 参加 134名

興味を誘引しました。参加者の意識改革や次の「実際に行動する人を増やす」ための道すじをつけることに成功しました。

今後は行政や関連団体との連携でより拡散できるように広報を行うほか、事業をスポットで終わらせないために、参加者の方がイベント後に日常的にできる具体的な行動を伝えていき、促進につなげていきます。

### 事業レポート③

#### 目黒区委員会

#### 児童虐待の撲滅の第一歩

2018年に区内で発生した女児虐待死事件の発生を受け、地域の課題として具体的な解決策を示す運動を起こすべく調査をした結果、浮かび上がった「子育て中の父母」の苦しみ。これを地域の課題と捉え、助け合う地域風土を醸成して児童虐待問題の解決に繋げるための事業をスタートしました。子育て中の父母に児童虐待の原因の周知を行い、児童虐待の発生予防に繋げる意識を醸成することを目的として活動を行いました。

子育てに対する父母の自己肯定感の低さが児童虐待の発生原因という有識者の助言から、本年は中目黒GTPラザ商店会と共催し、自己肯定感を高めるワークショップや、中目黒GTPタワー前広場にて虐待の原因と身近な予防策の講演、子育てする親へ地域が感謝する気持ちを伝えるブースなどを擁したフェスを開催。子育て助け合いマークとLINEbotの周知活動も行いました。

事業レポート④

文京区委員会

声掛けで障がいの壁を超える

障がいの有無に関わらず助け合う社会の実現を目的とした事業を展開して3年目の本年は、「障がい」に対する理解を深め、両者の交流を促進する当初の目的からさらに踏み込み、参加者が障害者差別の解消法として「合理的配慮」を自律的に行えるように導く活動を行いました。



視覚障害を持つテノール歌手や肢体障がいを持つ演奏家のライブ、車いす・アイメイトの体験会のほか、パネルディスカッションなどを通じ



て、互いに声を掛け合う重要性を共有、日常的な声掛けの促進のために「こころのバリアフリーマーク」を発表し、配布しました。

詳しくは  
コチラ！



●こころのバリアフリー  
推進プロジェクト2019  
開催 7/6 参加 322名

事業レポート⑤

北区委員会

地元の良さを再発信

「温故知新」のスローガンのもと本来魅力の詰まっている北区の魅力を再発信する事業を展開。発信の仕方を変えることで元来ある北区の良さに気付くきっかけとしてもらうため、これまで使用されなかった音無親水公園を舞台に選出。

子供から高齢者まで興味を持ってもらえ、地域活動に参加してもらいやすい方法として、和楽器演奏家



や日本舞踊家を招いたフェス、ライブアップ、子ども向けのクイズイベントなども実施。行政との連携や他



団体との協力体制の構築などを実現したほか、全市民が地域活動に参加する機会を創出できました。

●北区の魅力再発信  
開催 7/13  
参加 2000名



詳しくは  
コチラ！

詳しくは  
コチラ！



●児童虐待撲滅事業～パパママバースデー～  
「親になってくれた、あなたへ！」  
開催 8/10・8/24 参加 1000名



親・街・区が子育ての楽しさや大変さ、助け合いの必要性を共有し、子育てへの感謝を伝えることで地域の父母の子育てに対する肯定感を上げていくことを長期的な目的とした事業です。